

令和6年9月11日

国土政策局地方政策課

“地域活性化へ”官民連携基盤整備の支援事業を決定
～民間と自治体が連携して取り組むインフラ整備の事業化検討を支援します～

国土交通省は、「官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業(官民連携基盤整備推進調査費)」の令和6年度 第3回配分として、地方公共団体が実施する1件の調査(都市公園)の支援を決定しました。

本事業は、民間の設備投資等と一体的に計画される地方公共団体のインフラ整備(道路・河川・都市公園・市街地整備・港湾・空港等)の事業化検討を支援するための制度です。

配分先：地方公共団体

補助率：1/2以内

【添付資料】

- ・別添1 令和6年度第3回実施事業一覧
- ・別添2 令和6年度第3回実施事業概要(調査計画書(案)の概要)
- ・別添3 官民連携基盤整備推進調査費の制度概要

【その他】

- ・募集情報や過去の実施例等は以下をご覧ください。
国土交通省 HP「官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業」
(<https://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/kanminrenkei.html>)

【問合せ先】

国土政策局地方政策課調整室

専門調査官 雪丸

主査 山城、藤井

代表：03-5253-8111(内線 29-914、29-916、29-924)

直通：03-5253-8360

令和6年度 官民連携基盤整備推進調査費 第3回実施事業一覧

別添1

	調査名	実施主体	対象地域	概要	実施計画額（千円）	
					事業費	国費
1	東公園におけるにぎわい交流拠点形成に向けた基盤整備検討業務	福井市	福井県福井市	東公園は、福井駅から徒歩圏内にある公園であり、広大なスペースがあるにもかかわらず、十分活用しきれていない。今年3月、福井駅では北陸新幹線が開業し、交流人口の更なる増加が見込まれることから、県内外からの来園者・市民双方にとって魅力のある、にぎわいや交流の新たな拠点とするため、東公園及び周辺道路の再整備に係る概略設計や調査、PPP/PFI導入の可能性について検討を行う。	32,400	16,200
計1箇所					32,400	16,200

東公園におけるにぎわい交流拠点形成に向けた基盤整備検討業務

別添2

地域の特徴等

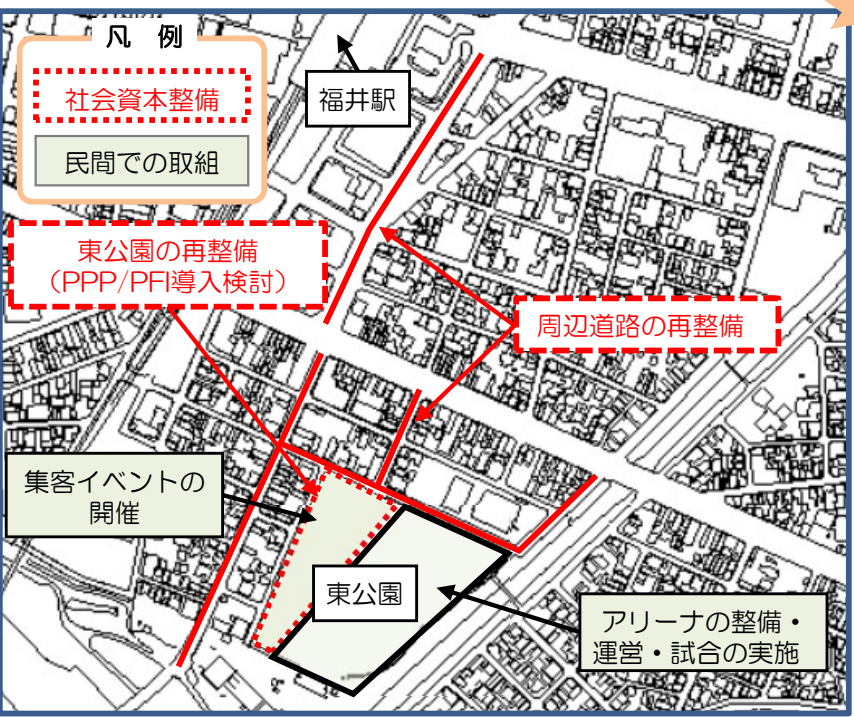
- 福井駅周辺地区は、交通結節点となる福井駅を中心に、商業・行政機能や歴史文化遺産、自然環境がコンパクトに集積されたポテンシャルの高いエリアであり、今年3月には、北陸新幹線福井駅が開業した。
- 福井駅から徒歩圏内にある東公園は、元々は市民球場であり、スポーツに親しむことができる施設として広く市民に利用されてきたが、老朽化により取り壊し、暫定的に緑の広場に整備した現在は、広大なスペースがあるものの活用しきれていない。今後、北陸新幹線開業による交流人口の更なる増加を見据え、県内外からの来園者・市民双方にとって魅力ある公園とするための整備が必要となっている。
- 北陸新幹線の開業や、東公園敷地内におけるアリーナの整備計画をきっかけとし、周辺道路を含めた東公園の再整備を行うことにより、まちなかの新たな機能としてにぎわいや交流の拠点となることが期待される。

【調査箇所：福井県福井市】



- (1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）
- ・ 令和4年2月 東公園内にアリーナを整備することを福井商工会議所、福井県、福井市が合意
 - ・ 令和4年8月 アリーナの整備運営に関する基本構想（案）の策定
 - ・ 令和6年2月 福井アリーナ整備・運営に関する基本計画（案）の発表

- (2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定
- ・ 合同会社福井アリーナプロジェクトによるアリーナ整備（令和7年度末～令和9年度）
 - ・ アリーナ運営会社によるアリーナ運営（令和9年度～）
 - ・ 福井ブローウィングスによる試合の開催（令和9年度～）
 - ・ 福井商工会議所による集客イベントの開催（令和9年度～）
 - ・ PPP/PFI事業者による公園の整備・管理運営（令和8年度～）



- (3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）
- ・ 東公園とアリーナの一体的な利活用を図り、敷地全体を多様な人々の交流・にぎわいの場とする再整備が必要
 - ・ 東公園に訪れる人の流れや周辺道路の混雑状況を分析し、来訪者の安全確保を図るとともに、にぎわい創出につながる歩きやすい道路づくりが必要
- 密接な
関連性

- (4) 【調査内容】
- ① 東公園（広場、園路、遊具、修景施設、休養施設、トイレ、手洗場、管理施設）再整備に係る概略設計
 - ② 東公園周辺道路整備に向けた調査検討（交通量調査、導線検討、整備内容検討）
 - ③ 公園の整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討

- (5) 民間の活動と一体的に整備する効果
- ・ 公園の利便性向上と利用者数の増加
 - ・ 安全で快適な、ウォークブルな駅周辺空間の実現
 - ・ にぎわい交流拠点の創出と回遊性の向上により、福井駅周辺の商業エリアにおける売上げの増加

官民連携基盤整備推進調査費の制度概要

事業概要

- 各地域の個性や強みを活かした特色ある成長を図るためには、民間の投資効果が最大限に引き出されるよう、民間の設備投資等と一体的に基盤整備を実施することが重要である。
- 官民が連携して実施する民間投資誘発効果の高い基盤整備や広域的な地域戦略に資する事業について、民間の意思決定のタイミングに合わせ、機を逸することなく基盤整備の構想段階から事業実施段階への円滑かつ速やかな移行を図るため、地方公共団体が行う事業化検討に対して調査費補助を行う。

事業内容

【配分先】 地方公共団体(都道府県・市町村等)

【補助率】 1/2以内

【募集・配分スケジュール】(令和6年)

区分	募集期間	配分時期
第1回	1月24日～2月7日	4月24日
第2回	4月17日～5月31日	7月31日
第3回	6月3日～7月19日	9月11日
第4回	8月6日～8月30日	10月上旬以降

【支援内容】

民間事業活動と一体的に行うことにより、優れた効果の発現や効率性が期待できる国土交通省所管の基盤整備*の事業化に向けた検討経費を支援

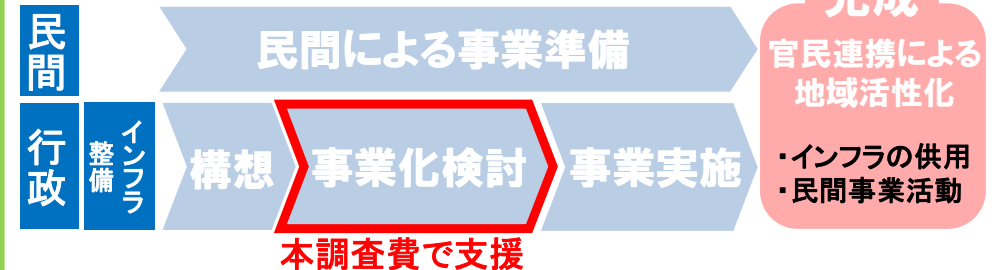
<調査内容>

- ① 施設整備の内容に関する調査
(例) 基礎データ収集、需要予測、概略設計、整備効果検討等
- ② ①で調査した施設の整備・運営手法に関する調査
(例) PPP/PFI手法の選定、官民の業務分担、VFM算定等

* 道路、海岸、河川、港湾、都市公園、市街地整備、空港等の公共土木施設

事業フロー

■ 事業化検討段階の調査費補助



主たる支援内容

- **インフラ整備事業の事業化に必要な調査**
基礎データ収集、需要予測、概略設計、整備効果検討 等

+

主たる支援内容に併せて実施可能

- **PPP/PFI導入可能性検討**
PPP/PFI手法の選定、官民の役割分担、VFMの算定 等